



ときの新しいはく物館を考え、活用するための

第3号

ときはく

ワーク
ショップ
ニュース



現在土岐市では、土岐の新しい博物館において、市民主体で活動する仲間づくりを進めていくため「新博物館市民ワークショップ」を行っています。過去2回のワークショップでは新博物館での過ごし方や、新博物館の建設地及び周辺を周遊してエリアの魅力について探ってきました。**3回目となる今回は、新博物館のゾーニング案を確認するとともに、今後の市民活動やなかまづくりについて考える**ため、4つのテーマに沿ってグループに分かれ活発な意見交換を行いました。第3回ワークショップ当日の様子を「ときはくワークショップニュース」としてまとめましたので是非ご覧ください。

◆当日のワークショップの様子

◆「つながりエリア」での活動・市民活動やなかまづくりについて考えよう！



◆日時：2024年4月14日(日) 13:00~16:00
◆場所：土岐市庁舎 1階多目的スペース ◆参加者：18名

◆ワークショップの主旨、当日のプログラム、全体スケジュール

◆新しい博物館の建設に際して「つながりエリア・にぎわいエリア」を中心に、市民の皆さんに興味を持ってもらうとともに、エリアでの過ごし方や活用の仕方について、ハードやソフトの両面から考えていきます。また、完成後に市民主体で活用する際の運営母体としての礎をつくっていきたいと考えています。

◆第3回ワークショップ 当日のプログラム

- 13:00 あいさつ
- 13:05 ワークショップの目的とスケジュール
- 13:10 前回のふりかえり
- 13:20 新博物館の提案概要について
- 13:40 学芸員からのお知らせ
- 13:50 グループワーク①～やりたいこと別に仲間をつくろう
- 14:20 移動&休憩
- 14:30 グループワーク②～活動のロードマップを作ろう
- 15:30 グループ発表
- 15:55 次回ご案内等（アンケートご記入後に解散）



◆ワークショップ開催内容、今後の予定など

- 第1回 【R5/12/10】
「つながり・にぎわいエリア」の活用方法を考えよう！
- 第2回 【R6/2/12】
現地及び周辺を体感しよう！まちとつながってどう使う？
- 第3回 【R6/4/14】
新博物館のゾーニング確認+今後の市民活動、仲間づくりについて！
【R6/7月頃から3回程度実施する予定】
今後施設を運営していくにあたり、ボランティア等による組織づくりや活用等などについて先進事例から学んだり、「(仮)ときはくサポーター」設立にむけての提案を行ったりします。
- 第4回の予定 【R6/7/7】
(仮テーマ) 組織づくりやしきみを先進事例等から学ぼう

済
済
済

PRグループ



わきあいあい
と意見を出し
あっています

PRグループ
の成果です



大きな模造紙に沢
山の意見が書き込
まれています。

イベントグループ



真剣なまなざ
しで模造紙に
書き込んでい
きます

イベントグループ
の成果です



(案) 博物館を知ってもらいたい隊

周遊グループ



たくさんの
意見が出て
います

周遊グループ
の成果です



(案) ときはくで始まるときたいけん

開発グループ



グループ
発表も大い
に盛り上が
りました！



開発グループ
の成果です

(案) こちら岐阜県土岐市ときはく開発チーム

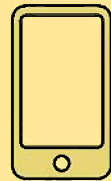
ひとこと アンケート

●ワークショップについて) 様々な年代の人と関わり、沢山の意見を出し合え、有意義な時間となった/若い方たちのあふれる情熱に感動した/楽しく過ごせた/自然と意見が出てくるようなワークショップになっていて素晴らしかった/自分では考えつかないようなアイデアが沢山あった/グループワークでの熱い話し合いがとても刺激的/年配の方から TikTok が出てきて驚いた/もっと地元のことは調べておきたい

●ときはくについて) 沢山の市民の声を取り入れた素敵な「ときはく」が完成することを願っている/土岐市のいい所をもっと自信をもって紹介できるようになりたい。(小、中、高校、大学生、大人、親世代、年配の方などそれぞれの世代にアプローチした発信が必要)/4年間の長い期間の準備にワクワクする/完成の時はお祭りですね。開館が楽しみです/「ときはくで始まるときたいけん」良いキャッチフレーズ/地元を代表する「ときはく」になることを願う/子ども達にはよいプロジェクトだと思う/地元の人々が誇りに思える施設にしたい

●実現に向けて) 全ての意見を反映するのは難しい/誰がやるのか? 言いっぱなしではいけない/夢の話は楽しいが、具体的な活動にするのが問題/博物館も災害時は避難所になる可能性がある/運営も市民が協力すべき/費用対効果は数字ではわからない/「土岐くらしのラボ」との協力/馬小屋建設実現にむけてよろしく願います~ 沢山の意見ありがとうございました!!!

◆第3回ワークショップで出た意見 ～ 新しい博物館での具体的な活用案

グループ	すぐにでもできること	完成までにできること	完成した後もできること	
① PR グループ	■PR ターゲットをどうするか考える。 ■地元を固める。地元の理解を深めていく。 ■市民、近所でも知らないことが多いのでPR の徹底 ■映える建物、花や景色などをPRすることはできる。 	●動画の配信 ・YouTube、TikTok による動画配信【学芸員も協力】 ・工事現場のリアルタイム配信/大人の美術館＋子どもの美術館 ●博物館の愛称、マスコットづくり ・「とっくりとっくん」、「ときまるくん」、「マーガレット＆セウ」など ●企業とのコラボ ・土岐出身の(株)エイチームの林高生氏の協力 ●その他 ・土岐駅から博物館までのルートの整備/駅北ロータリーに PR オブジェ/陸橋を博物館のゲートにしてフォトスポットにする。	★陶芸のまちならではの啓蒙 ⇒ 土岐市の子どもは全員が陶芸をしている。 ⇒ 小学校に窯がある。土岐市内小学生が陶芸する。 ★多くのヒト、若門達に利用してもらう工夫 ⇒ デートスポットとして整備 ⇒ 大学生無料券、ペア券 ⇒ 土岐市高校生まで無料 ⇒ ときはくは階段から見る夕日がきれい ⇒ ナイトミュージアム 	
② 周遊 グループ	■看板・案内板の整備～情報発信 ・史跡説明、散策ルートの看板等（色統一）/映えスポットの設定/キャラクターづくり、ロゴづくり、土岐博物館だよりの発行等 ■MAP・ルートづくり ・周辺マップの作成/観光会社とのコラボ/テーマ別周遊コース提案（1：世代別周遊、花、歴史、焼物等 2：目的別、時間別、城、古墳等 3：距離別、遠、近、中間）/新規ルートの開拓/周辺の窯元巡りスタンプラリー ■みどり、花 ・博物館の近くに既設の花を植えてほしい/ヒトツバタゴ、ハナノキ、シデコブシの植樹（環境づくり） ■その他 ・市内の歴史愛好家グループ結成/語り部によるレクチャー、ワークショップの開催/ジオラマづくり～ネタ、材料集め 	●グッズづくり ・ミュージアムグッズ/お土産、お菓子等/ゆるキャラ ●サイクリング～レンタサイクル ・博物館～陶芸村～織部の里周辺～セラテクノなどサイクリングルートづくり/サイクリングしながら史跡巡り。駅→博物館→隠居山、高山宿等 ●ガイドボランティアの育成 ・陶芸家によるガイドとルート案内/ガイド発掘と育成プログラムの構築/子どもやシニアによるガイド/案内看板、チラシの作成 ●施工ワークショップ ・地元の方達と共に施工ワークショップを開催。新しい博物館に自分が作ったもの、タイルなどを残す。 ●その他 ・古道具の復元作業、並べ方の工夫/博物館のサポーター募集/周辺の飲食店と絡めたルート設定/灯籠づくり～博物館の周囲に設置して映えスポットにする。周辺マップ	★コンテストの開催 ・一般を対象とした市内風景ハガキコンテストで魅力を発見/小中学生による風景絵画コンテストと発表をときはくで/土岐市内は陶器のオブジェクトやモニュメントが多く、他の市に比べると珍しいので、フォトリレーニングに利用する。 ★VR・スマホ ・VR によるゲーム感覚での案内ルートの構築/音声による案内ルートの構築/チラシ配布 ★オープニング（開館） ・学校や人が集まるスーパーマーケットにチラシを置く、貼る。/学校ではチラシを配ってイベント状況を知ってもらう。/オープニングの際には展示や展覧会などイベント的に盛り上げる。 	
③ イベント グループ	■イベントの開催 ・固定イベントを決める。/パッケージをつくる。/気軽に行ける仕掛けづくり ■PR ・新博物館オープンを知らせるPR/SNS で市外に発信/回覧板広報が必要/キャラクターづくり/公民館や古墳で覚え、市庁舎でさらに広く知ってもらう。 ■仲間づくり・協働 ・スタッフを集めていく。/学芸員と共同して体験の下準備	●体験型のイベント、グルメ系イベントの開催 ・子どもをターゲットにした歴史体験や発掘体験。ここでしか味わえない郷土料理を提供 ●歴史、伝統芸能系イベント ・武将隊イベント/市の地歌舞伎など伝えたい。お茶会 ●ロコミ、他の施設等とのつながり ・他のイベントに便乗。おかみ塾のイベント/ロコミで人を増やす。/月 1 回程度でイベント開催/地元のスーパー、ショッピングセンター、アウトレット施設、織部の里の巻き込み/駐車場からのつながり/緑・花・遊び	★体験 ・博物館でしかできない体験 ★キャラクター ・岐阜のゆるキャラ集合イベント 	
④ 開発 グループ	■PR、場のデザイン ・人をつなぐ。/ゆるっときさんと呼ぶ。/ゆるっときのBA を開く。/癒しゾーン/市民の受け入れ、集める。/なんでもゆるすうポ活動、途中参加 OK/シビックプライド、アイデンティティ、織部の心 	●技術活用 ・お土産（おかし）の販売/陶磁器試験場との取り組み企画で販売 ●開発 ・キャラクターづくり、ミュージアムグッズ（博物館限定トートバッグ、マグカップ、缶バッチ、アクリルキーホルダーなど） ●学び ・建設現場の見学会/新博物館ルートを決めるワークショップ/世代を問わず学びの会の開催/ライトな郷土史研究会	■運営 ・総活役/運営企画/オープニングイベント ■インパクト ・馬/オンリーワン 	
まとめ	今回は、これまでのワークショップに参加した市民の方の意向をふまえ、①PR グループ、②周遊グループ、③イベントグループ、④開発グループの4つのグループにテーマが分かれ、それぞれ自分が関わりたいテーマでメンバーが集まり、具体的に話し合ってくださいました。博物館は令和10年の1月に開館予定であり、完成までにはしばらく時間があります。今回のワークショップでは“すぐにでもできること”、“博物館の完成までにできること”、“完成した後もできること”といった時系列での活動内容を提案してもらいました。中には共通している内容もあり、今回の意見結果をふまえて改めて意見を整理しながら、今後はそれぞれのグループが楽しみながら活動できるように調整しながら進めていきたいと思います。皆さん、たくさんのご意見ありがとうございました。			